

別冊 **Lightning**

for tasty life  
イムック1630  
別冊Lightning  
Vol.57

ヴァンテージオート

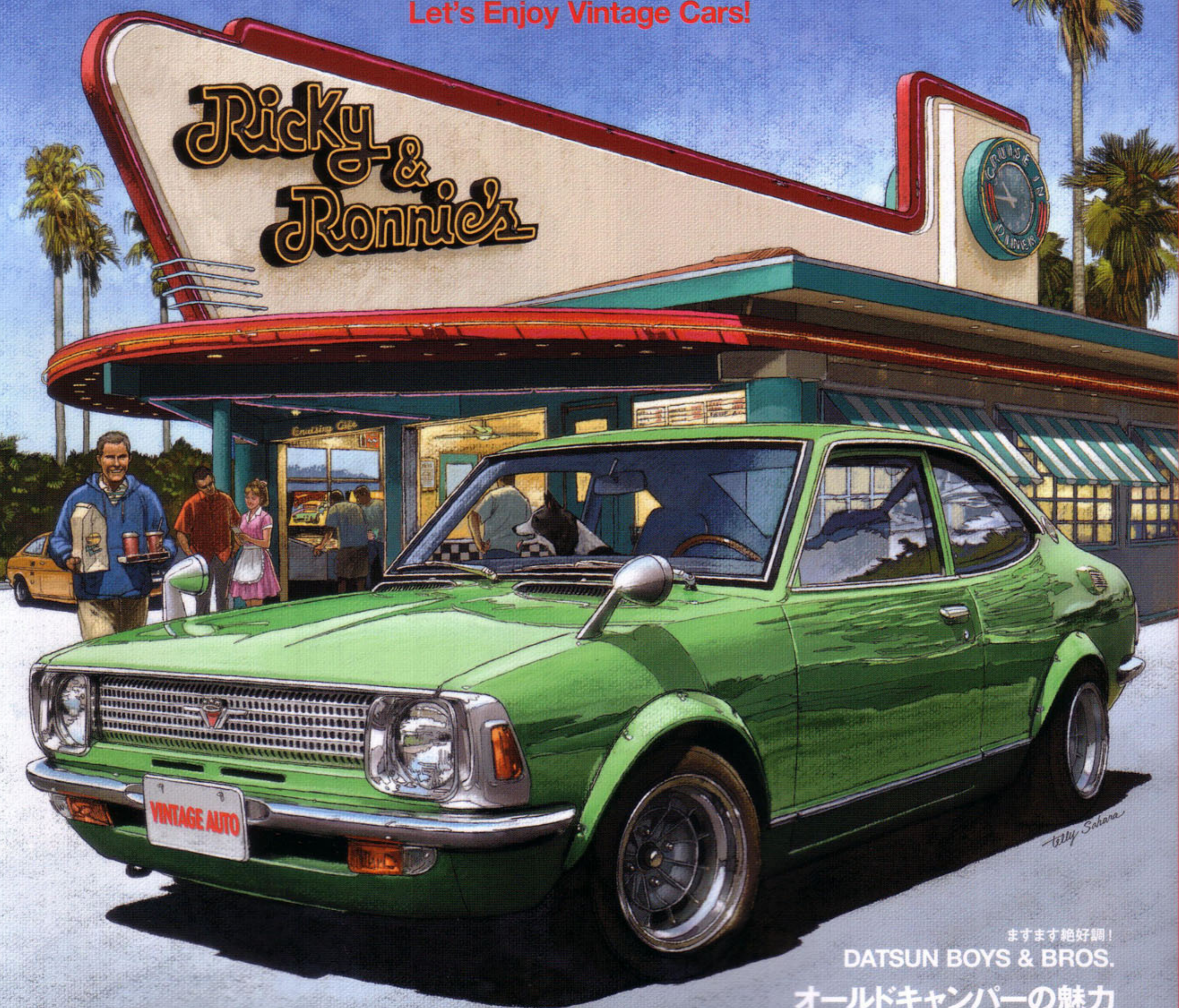
# VINTAGE AUTO

# 15

[巻頭特集]

## 遊び方自由! もっと見せます旧車の魅力

Let's Enjoy Vintage Cars!



ますます絶好調!

DATSUN BOYS & BROS.

オールドキャンパーの魅力

第11回オールオッズナショナルズ

THE SPECIAL  
FASCINATION OF  
VINTAGE CARS  
遊び方自由!  
もっと見せませう旧車の魅力

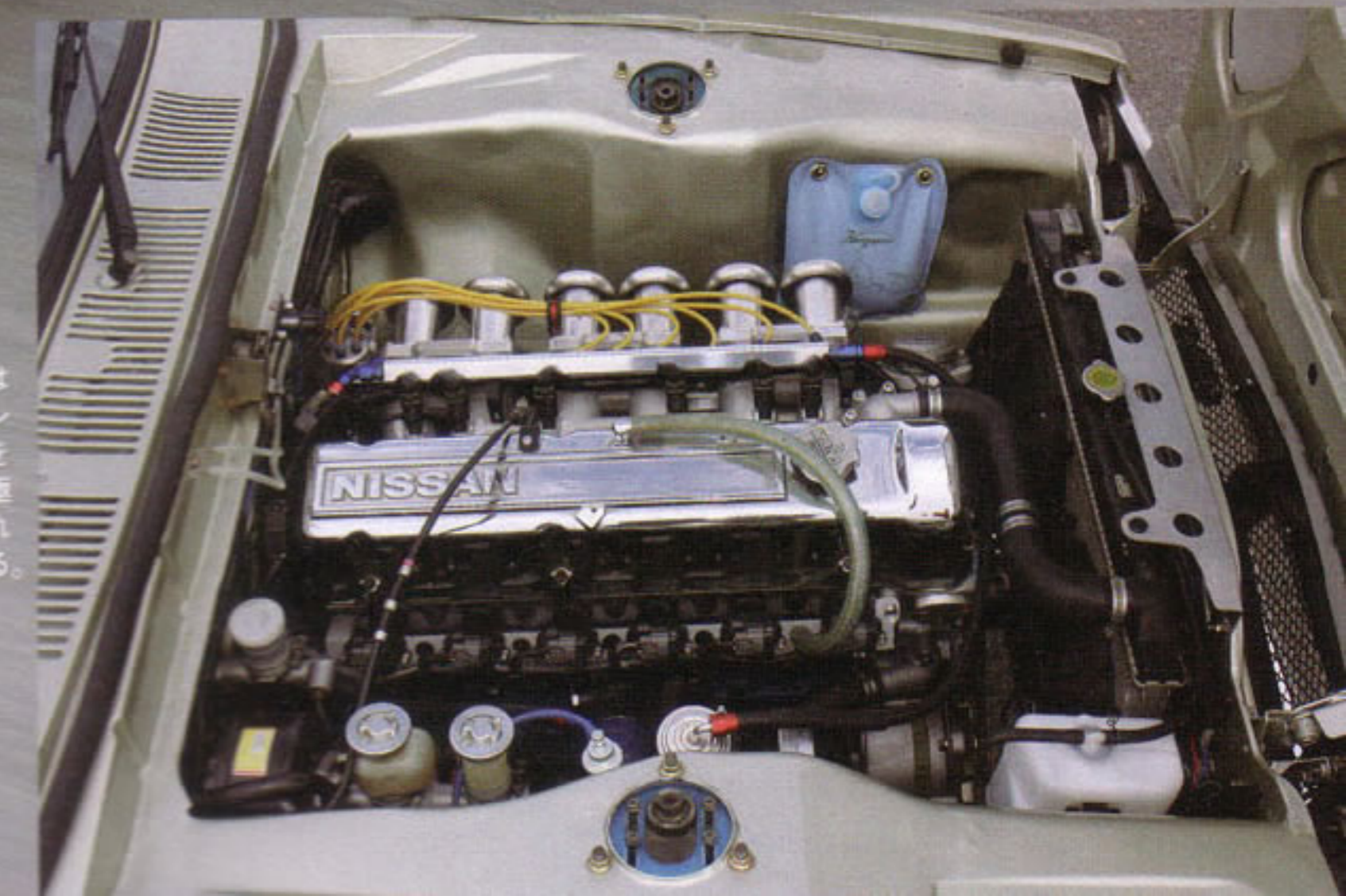
# L型最高峰を目指した やんちゃで楽しいハコスカ

いつも新しいコンセプトで業界に刺激を与えるロッキーオート  
今回特集に登場するのはL型マニア垂涎の箱スカである  
あえてL型をベースにスポーツインジェクション仕様で  
その乗り味とテイストを追求した興味深いマシンに乗ってみた。

text/K.Yamazaki 山崎和彦 photo/T.Sakurai 桜井健雄  
取材協力/ロッキーオート phone0564-58-7080

# 1971 NISSAN SKYLINE L28改 3.1ℓ スポーツインジェクション

伝統のL型ベースのチューンとはいえ、スポーツインジェクションを始め点火系にRB系のパーツを流用し、ワイヤーハーネス類を極力見せないUSルックも取り入れた新しいコンセプトマシンである。



ノーマルのL20で感じる「踏んでから  
ちょっとだけ待つ」感覚は皆無！ガ  
オッと下から、ギュウ〜と上まで、  
ストレスなく吹き上がる感覚は本当に  
気持ちいい。スポーツインジェクシ  
ョンのメリットを最大限に活かしたL型  
チューンのお手本といえよう。



<主なモディファイポイント>

- ボディ●オリジナルフレーム補強
- Fブレーキ●MK63ディスク（プレジデント用）スリットローター
- Fサス●車高調（ピロアッパー付き）
- Fホイール●7タナベ 8J
- Rサス●カヤバショート
- 燃料制御●FコンVプロ
- 点火系●RB26用ダイレクトイグニッション
- 燃料系●RB26用AACバルブ
- 電気系●RB26用クランク角センサー
- その他●電圧インアイドラキア
- 冷却系●HGR32用ラジエータ 電動ファン2基
- ピストン●φ89ショートピンピストン
- ヘッド周り●面研ポート加工 燃焼室加工
- バルブ周り●ピックバルブ 強化バルブスプリング
- 排気系●φ50ステンフルチアルマフラー



# 4

## あえてL型で追求する ファンにはたまらないテイスト!

もちろんボディはロッキーのお家  
芸であるフル強化バージョン！か  
くして仕上がった箱スカはもはや箱  
スカの形をしたベツモノ。でもギョ  
インツと一気に吹き上がるそのフィ  
ーリングに、ほんの少しだけしなら  
ではのモリモリと盛る上がる、回転  
トルクのうねりを感じる、なんとも  
味のある渋いクルマなのだ。

も楽しいが、スカイライン好きの中  
にはL型に徹底的にこだわるユーザ  
ーが多く存在することを、ロッキー  
オートは理解しているのだ。そこで、  
そんなL型ファンがRBコンバート  
カーと肩を並べても恥ずかしくない、  
確かなパフォーマンスを宿した箱ス  
カをプロデュースしたというわけだ。  
大きなポイントは、ロッキーオート  
がRBコンバートの超オーソリテイ  
であるということ。つまり、双方の  
全てを知り尽くしたエキスパートが  
作ったからこそ、今回のプロジェクト  
とは興味深いのだ。

注目のエンジンはL型定番の28改  
3・1リッターで、φ89ショートピ  
ストンを組み込み、ダミーヘッドポ  
ーリング、ヘッド面研、ポート加工、  
シートリング入れ替え、バルブガイ  
ド入れ替え、燃焼室加工、ビッグバ  
ルブ、強化バルブスプリング&ロッ  
カーガイドというフルメニユーを施  
してある。そんなメカニカルメニ  
ユーのポテンシャルを100%引き出  
すための燃料コントロールはVプロ  
をセットし、RB26用のダイレクト  
イグニッション、AACバルブ、ク  
ランク角センサーで万全を期す仕様  
となっている。

いつも新鮮なコンセプトワークで  
旧車好き、いや旧車にかかわらず広  
くクルマ好きの間で注目を浴びてい  
る岡崎のスペシャルショップ、ロッ  
キーオートが今回もヴィンテージオ  
ートの特集に合わせて1台のハコス  
カをコンプリートしたくれた。

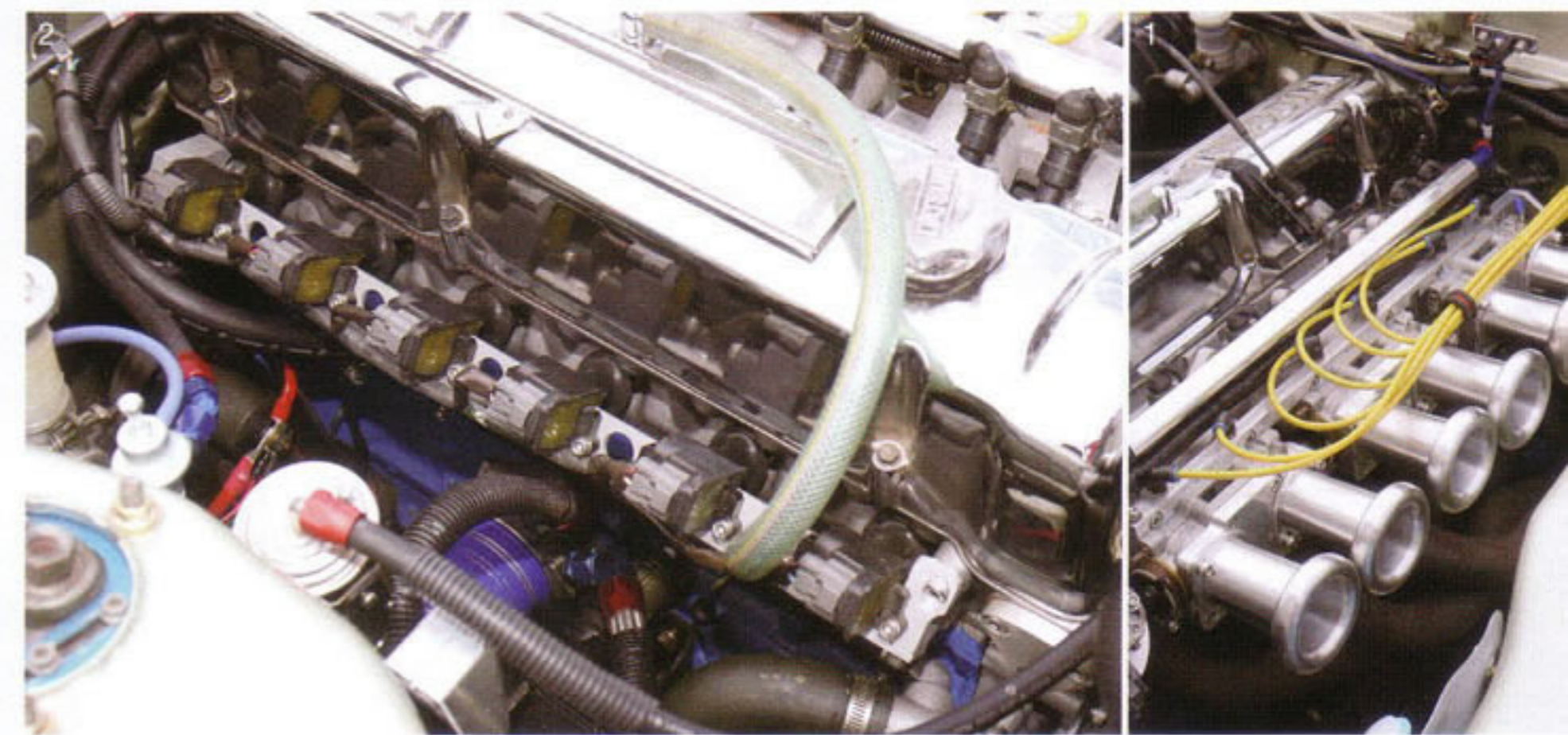
カスタムのコンセプトはズバリ、  
L型エンジンにこだわった「やんち  
や仕様！」ということで、いつもの  
RBコンバートとはちよつとばかり  
趣向の異なったものだ。というのも、  
確かにRBコンバートで一気に高度  
なハイパーモデルに昇華させること

# 1971 NISSAN SKYLINE L28改 3.1ℓ スポーツインジェクション

THE SPECIAL  
FASCINATION OF  
VINTAGE CARS  
遊び方自由!  
もっと見せます旧車の魅力



外装はGT-Rのイメージを元に、箱スカのカッコよさを徹底的に追求した仕様となっている。クルマ自体驚きのスペックを持っているが、一見するとややおとなしい雰囲気にとまどっているところがまた渋い。真のL型マニアに向けて、箱スカを知り尽くしたロッキーの新作だ。



1.スロットルボディに装着されたきれいなアルミファンネルはスーパースポーツL型が全域でトルクフルなパワーを発揮するための重要な要素。2.各プラグにそれぞれ1個ずつのイグニッションコイルがダイレクトに装着されている。RBエンジンの純正パーツの流用だ。3.4.有り余るパワーと強靱なボディのポテンシャルを活かすために装着されたタイヤはフロントが195/55-14、リアが225/50-15となっている。



# VINTAGE AUTO STREET PROJECT

## “やるぜ、僕らのワンメイク!”

ヴィンテージオートの編集スタッフは当然ながら皆クルマが大好き!  
そこでこのコーナーでは、スタッフの身の周りにはある様々なクルマが変化していく様子をリアルにレポートします。題して“ストリートプロジェクト”のはじまり～



### SCENE 1

俺のZはどんどん進化する!

1973 DATSUN 240Z



### SCENE 2

NAで目標380馬力!?

ROCKY "Z Top" Project



### SCENE 3

510が行く! 旧車エンズーを訪ねて

1971 DATSUN 510



6500r.p.m.を超えると全てが変わる!

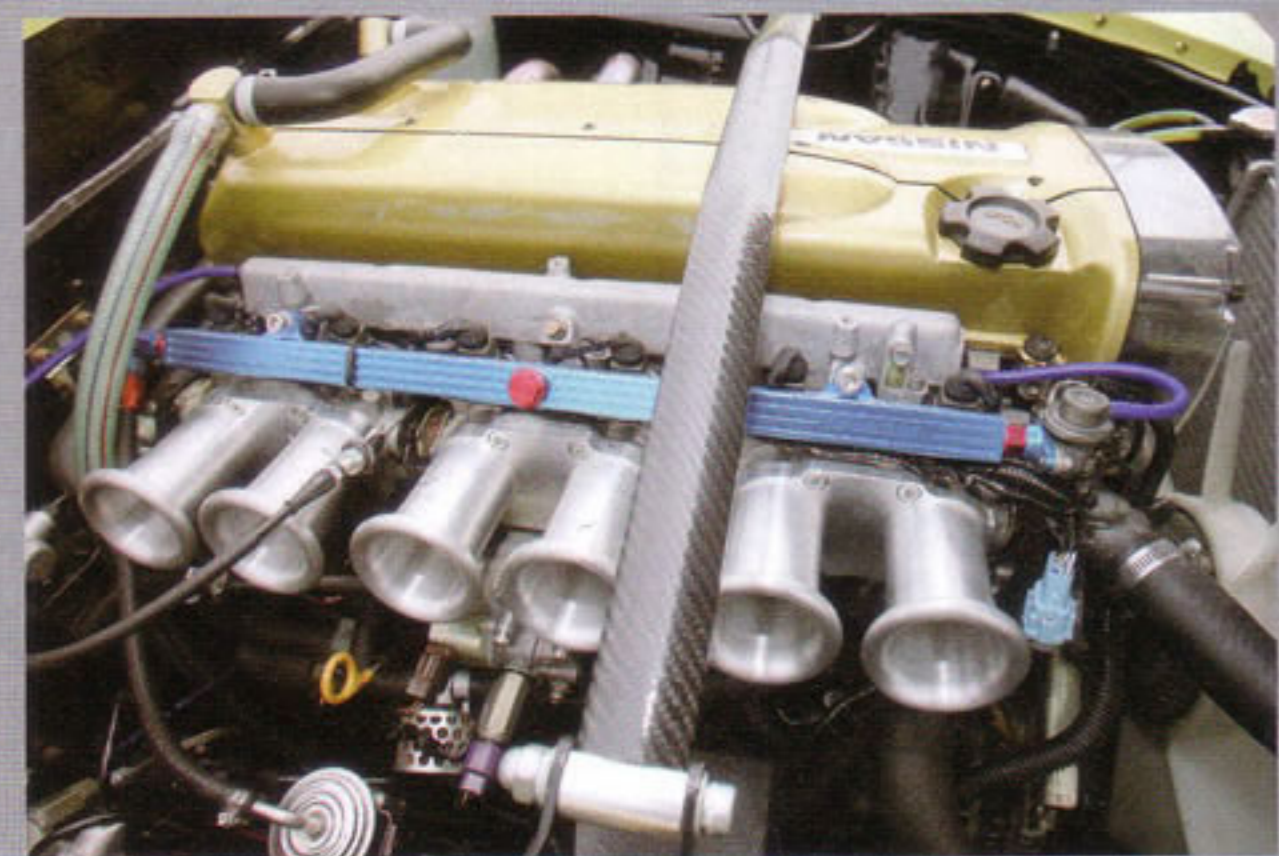


見た目の違いはないが、実はヘダースを作り直したり、ファンネルの形状を見直したりと、実に細かいトライアンドエラーを繰り返しているという。そんな血のにじむような努力を表面に出さないところが、ロッキーの凄みところ。こうやって歴史に残るチューニングカーが誕生していくのだ。



ワインディングのテストで、とんでもない加速に酔いしれながらふと気づく、このパワーに耐える車体剛性もまたとんでもない領域に達しているのだということ。

エンジンセッティング、特にフューエルコントロールは文字通りの終わりのなき戦い。今後もじっくりと煮詰めていき、納得のいくトルクとパワーをゲットするのだ。



**インテリアもバージョンアップ**

エンジンと足周りのセッティングが着実に進化の中で、もう一つの大切な要素「大人の乗り物としての快適性も」しっかりと追求されている。ちなみにインテリアはブラックの植毛で統一！ヨーロッパの高級スポーツカーにも負けないくらいシックな雰囲気を出している。今後はシートにレカロを入れ、ステリングホイールもクルマのキャラクターにマッチしたものをチョイスしていくという。



インテリアのグレード感もぐんと向上した。スイッチ類のレイアウトもまるで純正のような雰囲気だ。注目のオートエアコンも純正のコントローラーで快適に操作することが可能だ。



着々とプロジェクトが進行する中で、ロッキーオートに新しいキャラクターが誕生！ジョイマンならぬザッキーマンこと澤崎氏は、抜群の空想センスと真面目さで社長の大事な右腕となっている。

**SCENE 2**

NAで目標380馬力!?  
1973 DATSUN 240Z



第8回

**細かいセッティングで  
豪快なパワーアップ  
未体験ゾーンに突入だ!の巻**



6500r.p.m.を超えるまで踏むと、今まで経験したことのない加速フィールで後頭部に血が集まる。「コリヤ本気でドライブに集中しないとヤバイぞ!」と、私は真剣モード。こんなに楽しい経験はそう味わえるものではない。シアワセ!

ヴィンテージオートとロッキーオートのコラボ企画  
Zトッププロジェクトは、いよいよ最終段階に突入!  
少しずつ現した本性は、不気味なほどに魅力的であった

text/K.Ymazaki 山崎和彦 photo/T.Sakurai 桜井健雄  
取材協力/ロッキーオート phone0564-58-7080



期待!  
00r.p.m.を超え、前回より明らかに強烈な加速Gを全身で感じた。「これでもまだまだです、もっとつめていきますから、楽しみにしてください!」という社長の言葉に、嬉しいと同時に未体験ゾーンに入っていくドキドキした気持ちを抑えることができなかった。乞うご

RB30をベースにRB26DETのチューニングヘッドを組み同じくRB26用の6連スロットルで武装特注のヘダースとFコンVプロでNA最強のエンジンを追求するという壮大なテーマのプロジェクトも、いよいよその到達点が見え始めた。ロッキーオートのプロデュースによる驚きのスペックを目指すエンジンを搭載したのはHS30Z。このコーナーで既にレポートしたように、マシンは既にシエイクダウンを終え、今まさにプロジェクト最大の山場でもあり、最終段階でもあるファイナルセッティングに臨んでいる。過去に数え切れないほどのエンジンコンバートをおこなってきたロッキーオートも、未知のスペックとあつて慎重にセッティングを煮詰めている。そのあくまでも途中段階ではあるが、特別に渡辺社長に許可をもらい、試乗させていただいた。